

感染症発生状況

平成31年3月27日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年3月18日（月）～3月22日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】262名 【職員】10名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】65名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数83名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（92名）、咳・鼻水（38名）、下痢・腹痛（15名）、嘔気・嘔吐（28名）

疾病別：インフルエンザ（11名）、水痘（11名）、気管支炎・肺炎（8名）、溶連菌感染症（8名）

【職員】症状：下痢・腹痛（3名）、熱（2名）、頭痛（2名）

疾病別：胃腸炎（2名）

インフルエンザが減少しました。しかし、水痘やリンゴ病は依然として流行しています。職員のインフルエンザがなくなりました。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 厨川、河北、盛南、河南地域で減少しました。

水痘 都南地域で減少。盛南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 河北地域で減少。盛南、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 河北、盛南、河南地域で減少。玉山、都南地域で増加しました。

【県の状況（3/11～3/17）】

感染性胃腸炎は、奥州地区で報告が多くなっています。例年、春にロタウイルスによる胃腸炎が増加するので注意が必要です。ロタウイルスも他の胃腸炎ウイルスと同様に感染力が強く、少ないウイルス量で感染します。感染拡大防止のため、せっけんとう流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の塩素系薬剤を用いた適切な処理を行うことが重要です。

溶連菌咽頭炎は、盛岡市で警報値（定点あたり患者数8人）を超えた状況が続いています。主症状は突然の発熱や咽頭痛で、リウマチ熱や糸球体腎炎等を併発する場合があります。治療の際は医師の処方に従い、抗菌薬を飲みきることが必要です。予防には手洗いやうがいと、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

インフルエンザは、すべての地区で注意報値を下回りました。再び増加することもあるので、引き続き注意が必要です。予防にはこまめな手洗いや体調管理、咳エチケットによる感染予防が重要です。

春休みに海外へ渡航される方は、感染症にかからないために正しい知識と予防方法を身に付ける必要があります。厚生労働省検疫所(<https://www.forth.go.jp/index.html>)や外務省海外安全ホームページ(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)等で渡航先の情報を御確認下さい。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】